

ロキソニン S / 説明と注意

分類	解熱鎮痛薬	
成分	1錠中 ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1mg（無水物として 60mg）	
効能	<p>○ 以下の痛みを緩和します。</p> <p>頭痛・月経痛（生理痛）・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・腰痛・関節痛・神経痛・筋肉痛・肩こり痛・耳痛・打撲痛・ねんざ痛・外傷痛。</p> <p>○ 悪寒・発熱時、熱を下げます。</p>	
服用方法	<p>成人（15歳以上）：症状が現れたとき、1回1錠 1日2回まで。</p> <p>ただし、再度症状が現れた場合には3回目を服用できます。（服用間隔は4時間以上おいてください）</p> <p>なるべく空腹時を避けて水又はお湯で服用してください。</p>	
使用上の注意	次の人は服用しないでください	<ul style="list-style-type: none"> ● 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人 ● 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用して喘息を起こしたことがある人 ● 15歳未満の小児 ● 胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病の治療を受けている人 ● 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常(血液の病気)を指摘されている人 ● 出産予定日12週以内の妊婦
	次のことはしないでください	<ul style="list-style-type: none"> ● 本剤を服用している間は、他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬は服用しないでください ● 服用時は飲酒しないでください ● 長期連用しないでください
	次の人は相談してください	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師、又は歯科医師の治療を受けている人 ● 妊娠または妊娠していると思われる人 ● 授乳中の人 ● 高齢者 ● 本人または家族がアレルギー体質の人 ● 過去に薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人 ● 気管支喘息、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病の診断を受けた人 ● 胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気にかかったことがある人
	その他の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～2回服用しても症状がよくなる場合は相談してください。 ・ 添付文書は必ずお読みください。
アドバイス等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎮痛薬は痛みを根本から治すものではなく、一時的に症状をやわらげる「対症療法」にすぎません。痛みが長く続く場合は、必ず医療機関を受診しましょう。 	
服用して副作用と思われる症状があらわれた場合は、下記にお問い合わせください。		
販売日	平成 年 月 日	
薬局名		
薬局住所 TEL/FAX		
担当薬剤師		